

## 「イノベーション探究Ⅰ」～地域再発見プログラム～ 第8回

### 1. 実施日

令和4年6月24日（金）5，6限

### 2. 場所

1棟多目的教室（北・南）

### 3. 対象

グローバル科1年生（6・7組）

### 4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 6組 ミューリニコラス 矢野 和久  
7組 戸田 雄一郎 佐々木 啓成

### 5. 内容

講演：「チーム探究のキモ！—シェアドリーダーとリサーチクエスト—」

講師： 京都橘大学経済学部 准教授 乾 明紀 先生

#### (1) チーム探究とリーダーシップ

- ・チーム探究を行うために必要な「シェアド・リーダーシップ」とは何かを学ぶ。
- ・シェアド・リーダーシップ開発ワーク「砂漠で遭難したら？」

#### (2) 探究（研究）の過程を理解する

- ・探究には（1）問う過程、（2）答える過程、（3）まとめる過程 がある。
- ・研究過程図を用いて探究（研究）の流れを学ぶ。

#### (3) リサーチクエストに関するアドバイス

- ・「テーマ」と「リサーチクエスト」の違いを学ぶ。
- ・テーマからリサーチクエストを考えてみる。
- ・優れた研究の3要素とは、「新規性」、「信頼性」、「有効性」
- ・個人探究とチーム探究の違いについて学ぶ。

### 6. 学び

- (1) チーム探究とは、チーム（目指すべき共通の目標を有し、その達成のために必要な活動に従事している集団）として、探究活動を行うこと。そのためには、シェアド・リーダーシップを発揮することが重要である。
- (2) リサーチクエストの設定では、自分が研究できるレベルに問題をブレイクダウンしていくことが重要である。
- (3) 視点・切り口は、他者や社会の目を自分に取り込むことで面白いものになる。

### 7. 次回への課題

設定した研究テーマから質の高い多様な問いを設定できるのかを次の授業で丁寧に観察しながら、ファシリテートする必要がある。

### 8. 授業の振り返り

シェアド・リーダーシップ開発ワークである「砂漠で遭難したら？」では、楽しそうに活動しながら、シェアド・リーダーシップの意識を持って活発な議論ができていた。テーマからリサーチクエストを考えるワークでは個人によって、進度に差が出ていたので、その課題を念頭に置いて今後の指導を考えていきたい。